

越谷市自治基本条例審議会・作業分解図(WBS) (案)

<ねらい>

越谷らしさ (プロセスと結果の両面で)
PI(市民を巻き込んでいるか)
最高規範性の確保
運用・改正要件等、継続性の確保

<ゴール>

(仮称)自治基本条例について答申する

チェックする

A. 審議委員間で審議会の活動概要等について合意する

全員が同じベクトルで効率的、効果的に活動できるように、基本の枠組みについて合意する。

B. 盛り込むテーマと条文を構成する語句(骨子)をまとめる

条例の骨子となるテーマや条文を構成する語句・キーワードについて、議論し、集約する。

C. パブリック・インボルブメントを進める

懇談会などを通して、より多くの市民の意見を集める。

D. 素案をまとめる

答申の具体的内容を素案(条文・解説文)としてまとめ、市民に対してもフィードバックする。

E. 答申案としての体裁を整える

答申案としての文体やスタイルを整える。正式名称を決める。

さらに具体的な作業項目を、別資料の概略日程表(NW)図に示しました

審議会の初期の段階として、各委員の目標意識を一致させたい事項は、上記の「作業分解図(WBS)」の内容と、別資料の「概略日程表(NW)」の内容です。(作業の最も大きな枠組み、いつまでにどんな工程でどのような作業を行うのかを確認する資料です)
審議の過程において、検討作業の進捗や再検討によって、これらの内容を逐次見直していく必要があります。

WBSとNWについて

各委員の作業イメージを一致させるため、作業内容をWBS図とNW図で表現しました。
WBS(本資料)とは、ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャの略で、作業分解図ともいいます。作業内容を階層で表し、上位は概念的な内容を表現し、下位に展開するにつれて、具体的な作業項目を記載します。上位の包括的な作業内容を下位で説明・確認し、作業の抜けや漏れを発見しやすくし、未然に防ぎます。
NW(別資料)は、ネットワークの略で、日程管理表の事です。前後関係に注意し、準備や計画の為に日程を確保するのに役立ちます。
WBSとNWは、プロジェクトを管理する手法として、民間企業で利用されています。

図式化のメリット

WBSやNWのように、図で表す事により、以下のメリットがあります。
視覚でも理解するので、誤解が減ります。
議論が早くなります。
コミュニケーション用の道具として適しています。
作業の漏れや抜けが発見しやすくなります。
進捗管理が容易です。
変更対応が容易になります。
さまざまな価値観を持っている人たちが関わるプロジェクトでは、図式化は、効果的な合意形成手法として用いられています。